

# 没後20年 直木賞作家 光岡明の仕事

光岡明は熊本県唯一の直木賞作家で、当館の前身、熊本近代文学館の初代館長でもあります。1955年、熊本日日新聞社に入社し、記者として務める傍ら、作家としても活動し、1975年、『日本談義』に掲載された「卵」が同人雑誌推薦作として『文學界』に掲載され、中央文壇に進出。芥川賞に4回ノミネートされた後、1982年、「機雷」で直木賞を受賞します。1985年に熊本近代文学館長となり、「特別公務員」を自称。様々なジャンルの審議会、審査員などの仕事を引き受け、地域に貢献していきます。記者、作家、「特別公務員」として活躍してきた光岡明の仕事を、没後20年を迎える今年、自筆原稿や遺品などの貴重な資料とともに紹介します。



愛用の万年筆

## 第1章 光岡明の経歴



宇土高校在学時

## 第2章 光岡明作品を読む

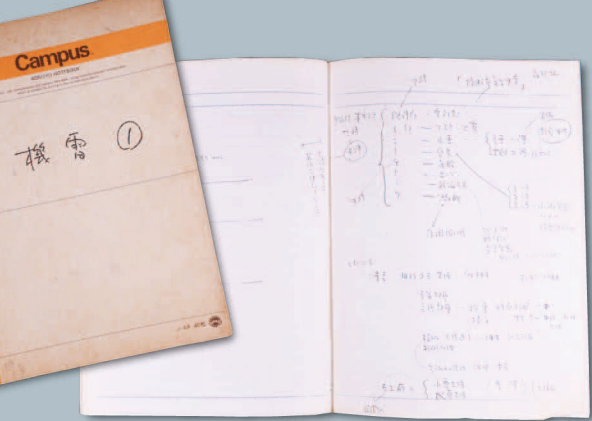


『千里眼千鶴子』光岡明（文藝春秋）

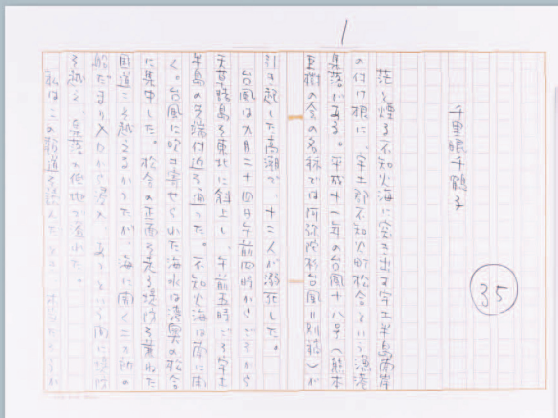


『草と草との距離』光岡明（文藝春秋）

愛用の机



直木賞受賞作「機雷」執筆のためのノート



『千里眼千鶴子』原稿

## 第3章 「特別公務員」 光岡明の仕事



熊本近代文学館館長室にて



シンポジウムの講演会講師（八代市）

### 関連イベント いずれも参加無料、①は事前申し込みが必要

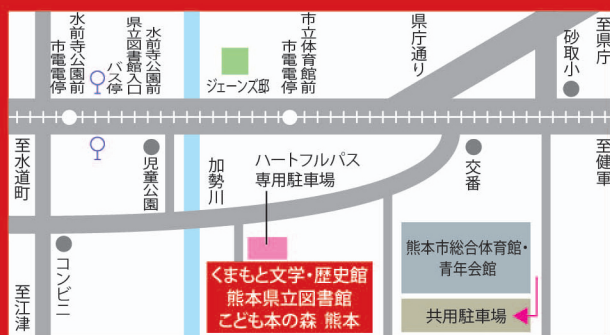
#### ① 記念シンポジウム「直木賞作家・光岡明の仕事」

【日 時】9月28日(土) 13:30~15:30  
【場 所】熊本県立図書館3階大研修室  
【講 師】宮尾尚氏(熊本県立劇場理事長)  
松下純一郎氏(島田美術館館長)  
吉井惠璃子氏(作家)  
【定 員】100名 申込み先着順締切

【申込先】くまもと文学・歴史館  
TEL 096-384-5000(代)  
受付時間 9時30分~17時00分  
※くまもと文学・歴史館 YouTubeチャンネルで、シンポジウムの模様を後日配信します。  
配信期間: 10月18日(金)~令和7年3月31日(月)

#### ② ギャラリートーク 申込不要

展示担当者によるギャラリートークを開催します。  
【日 時】① 9月21日(土) 13:30~14:00  
② 10月 6日(日) 13:30~14:00  
③ 10月27日(日) 13:30~14:00  
【場 所】くまもと文学・歴史館ロビーに集合してください。



次回企画展 「くまもとを拓くー熊本県公文類纂展ー」  
令和7年1月24日(金)~3月9日(日)



熊本市中央区出水2-5-1  
TEL 096-384-5000(代表)  
FAX 096-385-4214  
<https://www2.library.pref.kumamoto.jp/bunreki>